

「市長リコールの会」からのお知らせ①

代表 太田 恒久 (22-3727) 澤田 恵子 (090-8739-7408) 竹本 博光 (23-0895)

穂積市長リコール署名 始まっています！

署名期間
1/7～2/6

庁舎見直しを進める中で

私たちは気づきました！

鳳来・作手の
資源活かし
て欲しい！

周辺部の
衰退
止まりません！

何で南部企業
団地に産廃なのか！

- ◆産廃業者が動き始めて3年余、住民の反対の意思を無視。
- ◆県の説明を繰り返すだけの市長では存在意義無し？

新城市が
置かれている
深刻な状況を！

- ◆15年後には3万人台になると推計されています。
- ◆借金の多さが県下で5番目に多いのです。

庁舎問題さえ
まとめきれない
穂積市長のリーダ
シップの無さ？

- ◆5年もの見直しの声に応えられない穂積市長の政治手法に問題あり？

公共施設
インフラ維持管理
費にびっくり！

- ◆今後20年における年度あたりの平均維持管理費約56億円（過去平均約38億円）。

市長の政策
提案って何？

- ◆「もっくる新城」の見積りミス（2億3千万円）は、単純なミスの一言で、幕引き。
- ◆大善寺前の道は作ったけど、中心市街地は衰退に歯止めがかからず

箱物事業が
目白押し！

- ◆庁舎建設、作手総合開発、鳳来総合支所周辺開発、IC周辺企業団地造成、新城駅前開発など。総計100億円余。
- ◆お金はどこから調達するのか心配です。

産業政策が
ありません。

- ◆若者人口が減るはずだ！
- ◆やっと出てきた産業政策が、地域産業総合振興条例です。10年経って、今頃ですか？

合併して
良いことあり
ましたか？

もう穂積市長で10年経ちました！問題山積み！ ビジョンが無いまま、任期満了を待ちますか？

2年後の市長選より、今でしょ！

市長リコールは新城市の未来を考える運動です！

穂積市長！これではダメでしょ

これで大幅見直し？

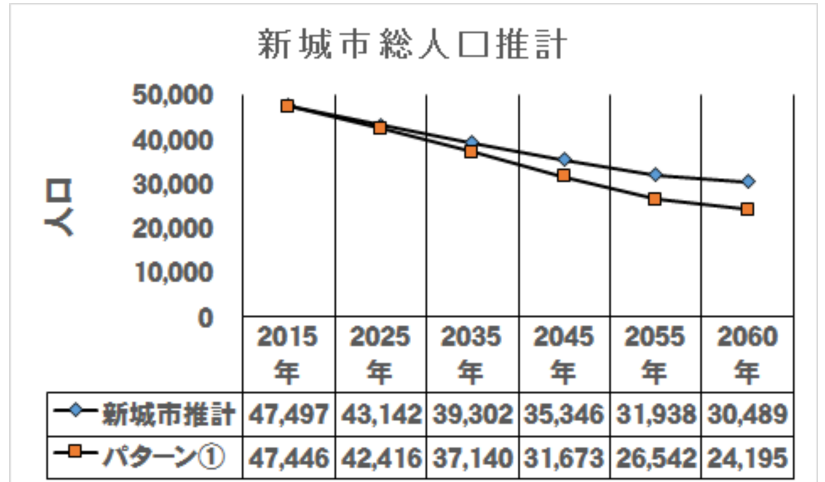
項目	当初案 (2014年当時)		見直し案	
	市案	求める会案	市案	求める会案
階数	5階	3階	4階	3階
延べ面積 (本体のみ)	9000㎡	5140㎡	6800㎡	5500㎡
延べ面積 (東庁舎含む)	取り壊し	6940㎡	8600㎡	7300㎡
総事業費	約50億円	約30億円	約45億円	約34億円
本体建設費	約32億円	約20億円	約30億円	約21億円

注) 総事業費には、南側敷地購入費用、東庁舎改修費用等を加えてあります。



見直し前が9000㎡
見直し後が8600㎡
あんまり変わってない気がするけど？

人口2万人台でも現職員数が必要？

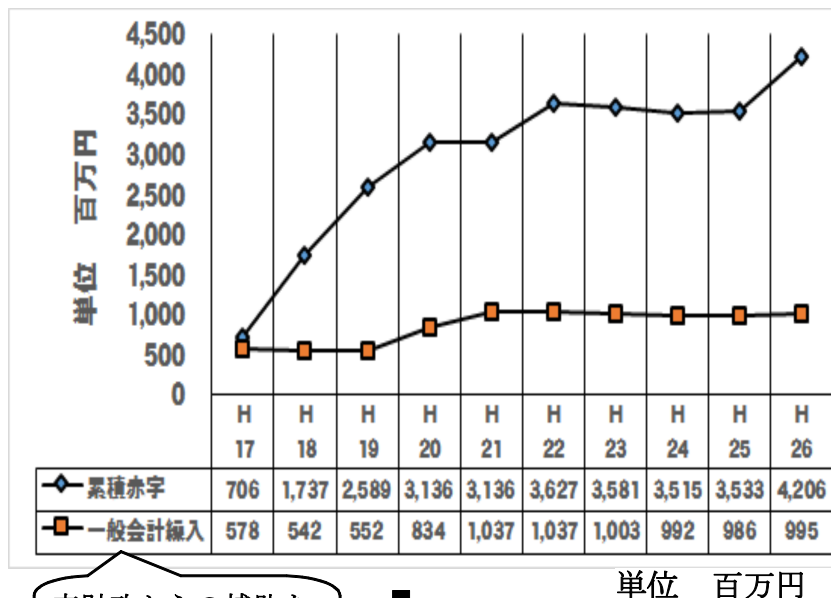


注) パターン①は、国立社会保障・人口問題研究所による推計。



人口が4割近く減る計画があるのに、
現職員数が基本の庁舎規模は不思議。
「職員数適正化は、今後考える」(市長)。
今、考えないとダメでしょ！

病院の黒字化達成！と自慢していますが？



市財政からの補助を、
一般会計繰入と言います。



黒字決算は10年間で2年だけ！
一般会計からの繰り入れがなかったら、
経営はたいへんだね！
結局、市民病院改革は問題山積！

市長リコールって何？

- ◆ 地方自治法で定められている、直接民主主義の制度です。有権者の1/3以上の署名を集めれば、市長の解職のための住民投票が実施できます。
- ◆ 署名は20歳以上の市民であれば誰でも可能です。
- ◆ 署名を集めることができるのは、請求代表者から「署名を集めること」を委任された人(受任者と言います)です。受任者には、市職員(一般職)・教員(市内勤務)以外は、誰でもなることができます。
- ◆ 署名への妨害(地位を利用して署名することへの妨害、威嚇・暴力など)は地方自治法違反により処罰されます。

◆ 新城市政は市民のためにあります。市政がおかしくなれば、市民自身が正さなければなりません。その行為が、市長リコールです。



※詳細は、「考えよう新城市政」パンフをご覧ください。